

ボランティアコーディネーション

第12回
(最終回)

夢と信念をもった ボランティアコーディネーションを!

特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長 後藤麻理子 ごとうまりこ

ボランティアコーディネーションについて連載してきたこのコーナーもいよいよ最終回になりました。実践現場にはたくさんの差し迫った問題があり、すぐにでも役立つ情報やヒントが欲しいところでしょう。しかし、あせってはいけません。本当の意味でのボランティアとの協働や効果的な受け入れの実現にすぐく「特効薬」はありません。時間と手間をかけて、しかも行きつ戻りつしながら根気強く作り上げていくものだと思って取り組んでください。

本会では2004年に「ボランティアコーディネーター基本指針」を策定しました。この指針はあらゆる分野のボランティアコーディネーターが追求する価値と自らに求められる役割について、4つの視点に沿って40項目に整理したものです。このなかから3つの項目を抜き出して、ボランティアコーディネーターにとっての大切な視点として紹介し、まとめて代えます。

●1● ボランティアは「市民社会」を構築する重要な担い手である

これはボランティアコーディネーターがボランティアをどう捉えるかという意味で重要な視点です。いきなり「市民社会」と言われてもピンと来ない方がいるかもしれません。“一人ひとりの市民が能動的に[社会]とかかわり、持っている力を発揮し、主体的に問題解決に取り組む社会”と言葉を加えてみるとどうでしょう。そして、この文章なかの[社会]という言葉のなかにはあなたの組織も含まれていると考えてください。

ボランティアは単なる人手でもなければ、職員の補助でもありません。ボランティアは、関心をもった課題やテーマを選んで活動を始めます。コーディネーターは、社会的な活動への自発的な参加者としてボランティアを積極的に捉え、組織のミッションを共有し、ともに歩むパートナーとしてボランティアを位置づけることで、その協働が始まるのです。

●2● ボランティア一人ひとりのなかにある力や可能性を信じる

人はいくつになっても成長します。ボランティア活動がもたらす新しい出会いや人の関わり、さまざまな学びや刺激を通じて、ボランティアはもちろんのこと、利用者も、そして職員も変化していきます。

当初はおどおどと自信なく活動を始めたボランティアが、数カ月後、見違えるように生き生きと活動している姿に驚くことも。ところが、慣れてきた活動者が依頼されていないことまで取り組み出したらどうしますか。ボランティアをめぐる「困った」は、実はボランティア自身の成長やステップアップの機会かもしれません。それまでの活動では満足できなくなった、もっとやってみたい、見るに見かねて、という意欲の表れとしてまずは受け止めてみてください。また、ボランティアの希望に応じるだけでなく、その人の個性や特徴に合った新しい活動の提案をしていくことも重要なコーディネーターの役割です。

●3● 豊富な情報、社会資源のネットワークを用意しておく

優れたボランティアコーディネーターといわれる人たちに共通することとして、豊富な情報を持っているということがあります。とくに具体的な人につながるネットワークをしっかりと張り巡らせていること。特定の領域だけでなく、多様な社会資源の在り処と活かし方に精通することで、自分の力量や組織の範囲で止めない、“面”のコーディネーションが可能になってきます。“つなぐ”というコーディネーションの機能を豊かに展開するためには、社会資源を活かす発想力と調整力をおおいに磨いていきましょう。

ボランティアと日々向き合う皆さん! これからも一緒にボランティアコーディネーションの専門性を実践の積み上げの中から確立していきましょう。

ボランティア・市民活動のコーディネーター・リーダー等 推進者のための



全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センターでは、ボランティア・市民活動に関わるボランティアコーディネーターやボランティアリーダー等の活動推進者向けに、月刊「ボランティア情報」を発行しています。全国のさまざまな実践や関連情報をコンパクトに掲載して、毎月お届けします。ぜひ、定期購読いただき、日々の業務や活動にお役にください。

■主な紙面構成(平成22年度予定)

- 特集
多様な分野で実施されるボランティア・市民活動についての現状と、そのなかでボランティアコーディネーター等の活動推進者の役割について取り上げる。
最近の特集例: ●更生保護を支える人びと ●「ひきこもり」状態にある人への支援
●2009年ボランティア・市民活動をめぐる1年の動き
●改めて考える身近な“エコ”
- 企業とボランティア・市民活動の協働についてのコーナーを新設
- 読者からの意見や相談に応えるコーナーを新設
- 情報トピックス
・各種調査概要、会議・イベント・助成関連情報など
- 体裁: A4判8頁 カラー ●発行回数: 年間12回(毎月発行)
- 頒布価格: 1部105円(税込・送料別)
- 年間定期購読料: 1,980円(税・送料込) ※10部以上購読の場合、送料無料
- 編集・発行: 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター

申込先: 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター
〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
TEL.03-3581-4656
E-mail: vc00000@shakyo.or.jp

「ボランティア情報」年間購読料金(送料込)		
1部=1,980円	4部=5,952円	7部=9,828円
2部=3,336円	5部=7,212円	8部=11,088円
3部=4,596円	6部=8,472円	9部=12,444円
		10部=12,600円

*上記の「10部」は、送料を含めない金額です(送料無料)

●年間購読について

1. 年間購読期間は、4月から翌3月までとなります。ただし、お申込・購読開始は、年度途中からでも可能です。その際は、購読開始月から翌年3月までのご請求となります。
2. 価格は上の表をご参照ください。年間定期購読10部以上の方は、送料は無料になります。
3. 購読料は前払いとなります。年度途中での購読注しや部数減などの場合も、返金は一切できませんのでご了承ください。
4. 購読料のお振込みは郵便振替でお願いします。なお、振込み手数料は振込み人のご負担となります。
5. 請求書の発行、または部数変更、住所変更、宛名変更等につきましては、ご連絡いただいた月の翌々月からの変更となる場合がありますので、ご了承ください。

年間購読者募集!